

人の役に立つことをしたい



まつどを守る未来の警察官候補たち（左から三瓶大輔さん、高山圭介さん、室井拓海さん、渡辺剛史さん）

安全を守る啓発活動

M.A.P.S.はMatsudo Area Police Supportersの頭文字をとって名づけられた流通経済大学にある「警察支援サークル」です。約4年前に結成され、現在は8人で活動をしています。メンバーのほとんどが法学部の学生で、将来警察官を目指している人も多いそうです。「振り込め詐欺防止のため、ティッシュ配りから高齢者向けイベントでの劇まで、松戸警察署の要請によって多岐に渡った活動をしています。「ティッシュ配りをしているときに温かい言葉をかけて

もらえるとうれしいです」とリーダーの渡辺さん。「劇をしたときはお客さんが800人以上いて、すごく緊張したけれど、皆さんが楽しく聞いてくれて、楽しめたと達成感がありました」とメンバーの室井さんが力強く話してくれました。



メンバーの室井さん



啓発キャンペーンに協力しています

若い人が伝えた方が説得力がある

警察からの要請がないときは、子どもたちの安全を守るため、新松戸駅や松戸駅周辺のゲームセンターや公園などのパトロールをしている皆さん。それらの活動を経て、初めての試みとして流山運転免許センターで小学生と高齢者向けの自転車の安全運転を呼びかける啓発イベントを企画中とのこと。松戸警察署生活安全課の人からの「若い人が伝えた方が説得力がある」という言葉を受けて、これからの活動に向け意欲を見せていました。